



2014年 5月31日 WASA 鳥人間プロジェクト OB報告会

WASA 鳥人間プロジェクト 2013年度 報告

29代 チーフ
宇多田 悟志

1年生, 2年生
举手!

2013年度チーム目標と結果

目標

- ✓ 鳥人間コンテスト タイムトライアル部門出場
- ✓ WASA初の旋回成功、完走
- ✓ 鳥人間コンテストタイムトライアル部門優勝

結果

- ✓ 鳥人間コンテスト タイムトライアル部門出場
- ✓ WASA初の旋回成功、完走(飛行禁止区域着水)
- ~~✓ 鳥人間コンテストタイムトライアル部門優勝~~ 失格

できたこと、できなかったこと

◆できたこと(改善したこと)

- 作業場の整理、機体の保管、他プロとの併用
- TFの改善(タイムスケジュール設定、経費削減)
- 会計(予算組、諸経費削減)
- 広報(トリガールとコラボ、対外を少し意識)
- 卓上CNCフライス導入

◆できなかったこと(改善できなかったor悪化したこと)

- 作業場の使用期間延長
- TF(フライト前後の動き、各員の役割把握)
- 会計(細かな用途記載、記載漏れあり)
- 作業環境の改善(煩雑期には手が回らなかった)
- 全体スケジュール管理

鳥人間コンテスト事故報告書

10月にytvより報告書提出要請

添付書類:

- ・フライト詳細1 (設計者視点でのフライト分析)
- ・フライト詳細2 (パイロット視点でのフライト分析と対処案)

原因と改善策:

- ・右旋回→湖岸に近づくので避ける、
湖岸とプラットフォームの位置関係把握
- ・折返し時の位置情報ロスト→パイロットの認識不足、視界確保
- ・通信→信頼性のある通信機器の導入
- ・想定不足→試験飛行での信頼性確認と本番を意識した練習

鳥人間コンテスト事故報告書

ytvへの提案:

- ・危険飛行に対する「音」による対処
- ・参加者説明会・安全講習会の質向上と情報開示
- ・参加チーム間での情報共有
- ・機体搬入に関して(運送業者の紹介など)
- ・通信機器の貸出

これを主題と受け取られてしまい、
再度対策案の提出を求められてしまった

Discussion 1: 試験飛行

Theme 1: 試験飛行の進行状況と実施可否

天候が50/50だが機体の安全が確認できていない場合

Theme 2: グランドクルー

昨年の内容から習熟度不足, 飛行を見ていない
どうやって勉強する?

高速機の危険性について認識しているか

Theme 3: 滑走路

富士川のコンディション, 混雑
グラウンドTF(滑走路に行く前の段階)

Discussion 2: チーム運営方針

Theme 1: パート(班)の役割と個人の負荷

パートリーダーをサポートする体制(負荷が集中)
仕事(書類手続き, 雑務等の分担)

Theme 2: 楽しめるチームと勝負するチーム

27,28チーフ「みんなが楽しめるチーム」
「勝負するチーム」にした結果?
→29代OBメーリス参加率 12/19

Theme 3: OBの関わり方

試験飛行での役割